

えんだより

人の感情は、3歳までに育つと言われていました。

日常の中で子どもが育っている時「子どもの心が育った」と感じる瞬間はどのような時でしょう。意識しないと見えにくい子どもの心の成長を援助する役割が大人に求められています。

最近マスコミが「認知能力」「非認知能力」というキーワードを多く使っていますが、就学前は『自分と他者に対する基本的な信頼感』や『自分の行動や感情をコントロールする自制心』など（非認知能力）を、身に付けていることが大切です。

この能力の土台をしっかり築けている人は、小・中・高・大で受ける教育（認知能力）が着実に積み上げられます。

心の中に
鬼はいませんか？
たくさん探して
退治しましょう。

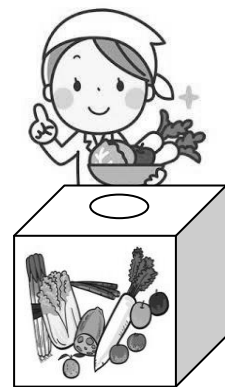


★給食室より

3日は節分です。節分とは、季節の変わり目である立春の前日の事で「季節を分ける」ことを意味しています。保育園では、2月2日に「鬼ライス」・「いわしのつみれ汁」・「五目豆」など、節分の日特別メニューを提供します。

郷土料理、2月は埼玉県です。秩父地方の「かてめし」・川島町の芋幹が特徴の「川島呉汁」・埼玉北部の「いがまんじゅう」などを予定しています。埼玉県の郷土料理に興味・関心を持って、おいしく食べられるように工夫します。

2月の食育活動



日	クラス名	内 容
2/2	つき組	生イワシの「身・内臓・ほね・皮」を観察して身をミンチにする。
2/15	ふたば組 もり組	カブを、見て・触って、葉とカブを分類する。
2/15	ほし組	食パンで作ったフラワーカップに、果物を入れてホイップクリームをトッピングする。
2/19	やま組	ブロッコリーの房を取りながら、感触と匂いを観察する。
2/23	にじ組	食育材料当てクイズ 野菜や果物等の入った箱の中に手を入れて触り匂いをかいで種類を当てる。

★保健室より

身近に潜む火傷に注意しましょう。



寒さの厳しい季節となっています。暖かい料理や飲み物が食卓に出る機会も多くなり、そんな時に注意したいのが火傷です。火傷を防ぐ為には、火傷の恐れのある物を子どもの手に届く所に置かないようにすることが重要です。乳幼児は皮膚が薄く体も小さいことから、火傷をした場合に重症化しやすいです。火傷をしたらまず冷やします。直接水がかけられない顔などは、冷やした濡れタオルでこまめに冷やしましょう。水ぶくれができてもつぶさないで下さい。火傷の患部には、清潔な湿らせたガーゼなどをつけて冷やしながら病院受診しましょう。

お腹の調子を知る為には便の観察をしましょう。

排便の後、便の観察をしていますか？
便には健康状態を知る情報が詰まっているので観察する習慣をつけましょう。
良い便を出すには、野菜や豆類、海藻等の食物繊維を沢山とること、その他、ヨーグルトやチーズ、納豆等の発酵食品も良いです。また、体を動かすこと・食事の際良く噛んで食べる事が大切です。良く噛むことで消化・吸収が良くなります。

冬季の感染症が流行しています。



葛飾区の感染情報ではインフルエンザと溶連菌・胃腸炎の流行が多数みられます。保育中に体調変化があった場合には、保護者に連絡し、受診をお願いしています。子どもの様子がいつもと違う時や、家庭で薬を飲んでいる時は必ずお知らせ下さい。

早退した時は、できるだけ早く受診し、園に結果をお知らせください

